

## 第4回 加茂川総合内水対策協議会 議事録

日 時:平成 24 年 11 月 19 日(月)13:00~14:15

場 所:美濃加茂市役所本庁舎3階第一議会委員会室

出席者:市)渡辺直由美濃加茂市長、伊藤秀樹美濃加茂市総務部長、

丹羽英治美濃加茂市技術総括部長

町)南山宗之坂祝町長、三品智裕坂祝町総務課長、

小関昇坂祝町産業建設課長

国)浅野和広木曾川上流河川事務所長、

上野広志木曾川上流河川事務所副所長

県)岩崎福久岐阜県県土整備部次長兼河川課長、近藤真章可茂土木事務所長

民)丹羽孝次深田一自治会長

協議事項: 1. 加茂川総合内水対策計画(案)について

### 1. 加茂川総合内水対策計画(案)について

加茂川総合内水対策計画(案)について、木曾川上流河川事務所調査課長、岐阜県県土整備部次長兼河川課長、坂祝町産業建設課長、美濃加茂市都市計画課係長がそれぞれ説明し、その内容について委員から次のような意見が出た。

#### 【美濃加茂市技術総括部長 丹羽氏】

行政だけではできないことが多い。地域住民の協力を得ながら事業に関わってもらうということが大切である。

例として、加茂川沿川の土地所有者の方に竹林を伐採していただき、その運搬除去を行政で行うことや、草笛町の造成や建築等現場の状況の変化を地域住民から行政へ連絡をいただき、農地の保全等の監視体制の強化を図ること等が考えられる。

雨水貯留施設の設置を促進するには、トータルとして水道料金が安価になる仕組みを検討するなど、わかりやすいかたちで住民にPRしていきたい。

#### 【坂祝町長 南山氏】

嵩上げしたら家が建てられますといった宅地化を前提とした指導ではなく、今後も農地を保全する方向でいきたい。宅地化の許可がどんどんおけるとい状況は作りたくない。

浸水時、坂祝町と美濃加茂市を行き来できる道路の確保をお願いしたい。水がつきにくい国道21号以外で、光徳橋、大門橋、井戸坂橋のいずれかが通れるようになると良い。

ハザードマップができてから地権者等への説明をしていきたい。

**【美濃加茂市長 渡辺氏】**

加茂川総合内水対策計画（案）で提示された施策に加え、新丸山ダム建設事業の促進も前提にあることを考慮すべき。ダム検証を早期に完了させ事業の促進を望む。

**【岐阜県県土整備部次長兼河川課長 岩崎氏】**

新丸山ダムについては、県としても早期にダム検証を終え建設するよう国に要望していきたい。

この計画（案）は、行政（国・県・市・町）の役割はそれぞれわかるが、住民の役割等がわかりにくい。住民の意識や役割をわかりやすいかたちにできないか。

**【木曾川上流河川事務所長 浅野氏】**

新丸山ダムについては、早期に進められるよう努力していきたい。

住民一人一人がどうすれば、どれだけの効果があるというような、わかりやすい指標等があると良い。

水害の軽減のために、流域全体でソフト・ハード事業を進めることが重要だと思う。

**【深田一自治会長 丹羽氏】**

上下流域の住民の意識のずれを感じる。個人的な意見だが、雨水流出抑制施設設置助成事業を利用された方に、自治会から感謝状を贈り、広報紙等で取り上げてもらう等盛り上げられたら良いと思う。